

# 自然と生き物の色々な話

## ～生きた化石～

「生きた化石」という言葉を聞いたことはありますか？  
化石は生き物が死んで地層に閉じ込められたもので、掘り出して調べると、大昔の生き物の様子がわかるものです。

「生きた化石」というのは、大昔はたくさんいて今は少しだけ生き残っている生き物や、大昔の生き物の特徴を今も持っている生き物のことです。

化石は、肉や内臓などが化学変化でなくなっていますが、「生きた化石」にはそれが残っているので、大昔の生き物がどんな姿や生活をしていたのかなど、化石では分からない点を調べる大きな資料になります。

「生きた化石」は、その特徴から次の5種類に分けることができます。

呼び方の分類	解説
①数量的遺存種	大昔は数が多かったが、今は少ししか生き残っていない生き物
②地理的遺存種	大昔は至る所にいたが、今は狭い地域にしかいない生き物
③系統的遺存種	大昔からその姿や特徴が今もほとんど変わらない生き物
④分類的遺存種	大昔はよく似た仲間の生き物がいたが、今では仲間のごく少しの種類しかいない生き物
⑤環境的遺存種	大昔の生活に合わせた特徴を今の生活でも持っている生き物

### 有名な生きた化石

シーラカンス(分類①②③④)



カブトガニ(分類②③)



オウムガイ(分類③)



# 兵庫県内で見られる生きた化石

ひょうごけんない い か い かせき せいそく  
 兵庫県内では以下の生きた化石が棲息しています。



オオサンショウウオ

世界最大の両生類です。  
 おおよそ 3000 万年前から棲息していたと言われ、山間部の川などで見ることができます。また国の特別天然記念物にもなっています。

分類③



カツオノエボシ

おおよそ 6 億年前に誕生し、ほとんど形が変わらず現在まで生存しているクラゲです。  
 海水浴場などで流れ着いていることがありますが強力な毒をもっているため、触らない事。

分類③



ゴキブリ

みんなの嫌われ者ですが、おおよそ 3 億年前に生まれたと言われ、恐竜よりも長い歴史を持っています。建物で見ることが多いですが、元々は森に棲む生き物で、動物の死骸や朽ち木を食べていました。

分類③



ヤマネ

森林に住むリスのような生き物です。  
 数千万年前に大陸にいたヤマネが日本に住み着いたと言われており、不思議の国のアリスの「ドーマウス」のモデルとも言われています。

分類③



イチョウ

おおよそ 2 億年前に現れ、絶滅していったイチョウ科の中で唯一生き残った種です。  
 原始的な特徴をいくつも持ち、植物としては実はかなり特殊です。

分類③④



ヤツメウナギ

アゴが無く、骨はすべて軟骨でできています。背骨を持つ生き物の中では最も原始的とされている生き物です。  
 ちなみにウナギとついでいますがウナギの仲間ではありません。

分類③

